

平成 26 年度 大学院人文科学府 博士後期課程 第 2 期入学試験問題
(日本語)

解答は、解答用紙に書くこと。その際、「問 1－1」などと記し、どの問いに対する解答かを明示すること。

問 1 以下の文章は、ある講演の一節である。これを読み、問いに日本語で答えなさい。

文化と言語についての話をします。文化も言語も社会に共有され、世代的に継承されるものです。どちらも同じ性質を持っています。

言語は思考の手段であり、知覚し認識した現実世界のできごと、微妙で複雑な感情、精密で膨大な量の知識と思想を表現し、伝達する道具です。ただ伝達するだけの道具ではなくて、言語があってはじめて思考が成り立つとか、人間の知覚とか認識などとも深く密接につながっているものです。

言語に深く刻み込まれた文化は言語によって理解され、言語によって継承されます。

文化は言語によって空間と時間を超えて遠く離れた人々によって伝えられ、蓄積され、発展してきました。私たちは、「高い文化」、「高い文明」と言いますが、言語がなければここまで発展してこなかっただろうと思います。言語の所有は人間と他の動物とを区別する最大の特徴の一つだと言ってもよいと思います。

人間が創造したものの中で、言語ほど緻密で繊細で複雑で、人間と一体になった道具はないだろうと思います。どれくらいの量のものが言語によって形つくられているかというのは、図書館に行かれたらわかると思います。図書館に入っているあのすべてが言語で書かれているわけです。日本語で書かれている本の数だけを見てもすごいものがありますが、あれはまさしく言語のなせる業です。

発音や文法などは言語ごとに異なりますが、(A)言語の機能と価値は英語や日本語のような大言語も、話し手が数人の小言語も同じです。考えを伝える、感情を表現して伝える、あるいはそういったものを言語によって蓄積していく。そういう機能はどんな言語も同じです。

世界各地の言語には(B)があります。その(B)はどのようにして発生しているのでしょうか。

人間は、多様な自然や地理的な条件の中で環境に適応し環境変化に対応していく中で、絶え間ない創造と改良を積み重ねました。アフリカで生まれた最初人間が世界中に広がっていく。住む場所も気候もいろいろと違う中で適応していくわけです。世界中に拡散している生物の中で、人間は、遺伝学的な変種が一番小さいのです。環境に適応していくなかで遺伝的な性質を変えないで適応している。(C)それがなぜ可能かというと、

文化によって適応していくことをしているわけです。

個人に発生した工夫と変化が一回限りのものに終わることもありますが、言語によって周囲の人間に伝達されて集団に共有されます。最近、木の実を石で割ることを発見したゴリラが仲間に伝えるということがわかっているのですが、言語を持っている故に人間が一番そういうことができるわけです。

絶え間ない文化の創造と改良は、遺伝的性質を変えることなく人間が多様な環境に適応し、世界中に拡散して繁栄することを可能にしました。

創造と改良、移動と拡散の繰り返しと積み重ねが、文化と言語の多様な地域差と個性を生む要因だと思います。

人間が定住して安定した生活を送り、適応戦略に地域ごとの違いが生まれ、長い間に文化の地域的な変種が形成されていきます。広い地域を移動していると、広い範囲の中で共通性が共有されるのですが、定住してくると移動の制限が出てきますので、地域ごとの変種がより強くなっていくのだらうと思います。

言語にも(D)同様の地域的な変種が生まれます。近接する地域の言語差は小さいですが、遠く隔てられるほどに言語差は(E)なります。隣り合っている高い山、海、川などによって言語差ができることもありますし、国境や社会的あるいは政治的な境界が言語差を(E)することもあります。

地域内の文化的・言語的な(F)は構成員をつなぐ絆となりますし、地域的アイデンティティを形成する重要な要素となります。違うことばを話す人、違う文化を持っている人たちに対し、「あの人たちと私たちは違う」と言って身内の意識が強くなりますが、言語はそのような地域的アイデンティティを形成する重要な要素です。

日本における文化と言語の地域差もあります。日本は亜寒帯から亜熱帯にまで及ぶ広い範囲に大小さまざまな島々が南北に細長く連なる島国です。日本は気候風土や生活環境だけでなく、歴史的にも文化的にも個性的な特徴を持ったたくさんの地域の集合です。

(国立国語研究所 第3回国際学術フォーラム
より狩俣繁久氏の講演「琉球方言から考える
言語多様性と文化多様性の危機」の一部を抜粋)

問1-1. 下線部(A)のように言える理由は何か。作者の意見をもとに、簡潔に述べなさい。(20点)

問1-2. (B)には同じ表現が入る。以下の3つのうちから適切なものを選びなさい。(5点)

- ①社会差
- ②自然差
- ③地域差

問 1－3. 下線部(C)の「それ」は何を指すか、答えなさい。(10点)

問 1－4. 下線部(D)について、何と同様なのか、本文中の表現を使って答えなさい。(10点)

問 1－5. (E)には同じ表現が入る。文脈と文法を考慮し、適切な表現を書き入れなさい。(5点)

問 1－6. (F)に入る表現として適切なものを、以下から選びなさい。(10点)

- ①恣意性
- ②多様性
- ③同一性

問 1－7. 次の漢字の読みを答えなさい。(10点)

- ①世代
- ②蓄積
- ③繊細
- ④身内
- ⑤範囲

問 2. 以下の日本語の文章は、ある架空の留学生が書いたレポートの冒頭部分である。この文章にはいくつかの文法的な間違いや日本語として不自然な表現、レポートとしては不適切な文体上のミスが含まれている。できるだけ適切な日本語に書き換えて、全文を解答用紙に書きなさい。(30点)

「このレポートの目的では、日本語を学習する者の日本語における敬語を注目し、どうした誤用があるか考慮しながら、文法的の特徴を論じることだ。ここで言う誤用とは、単純の発音のミスや言い間違いとかではなく、謝った文法規則に適用することを指す。」